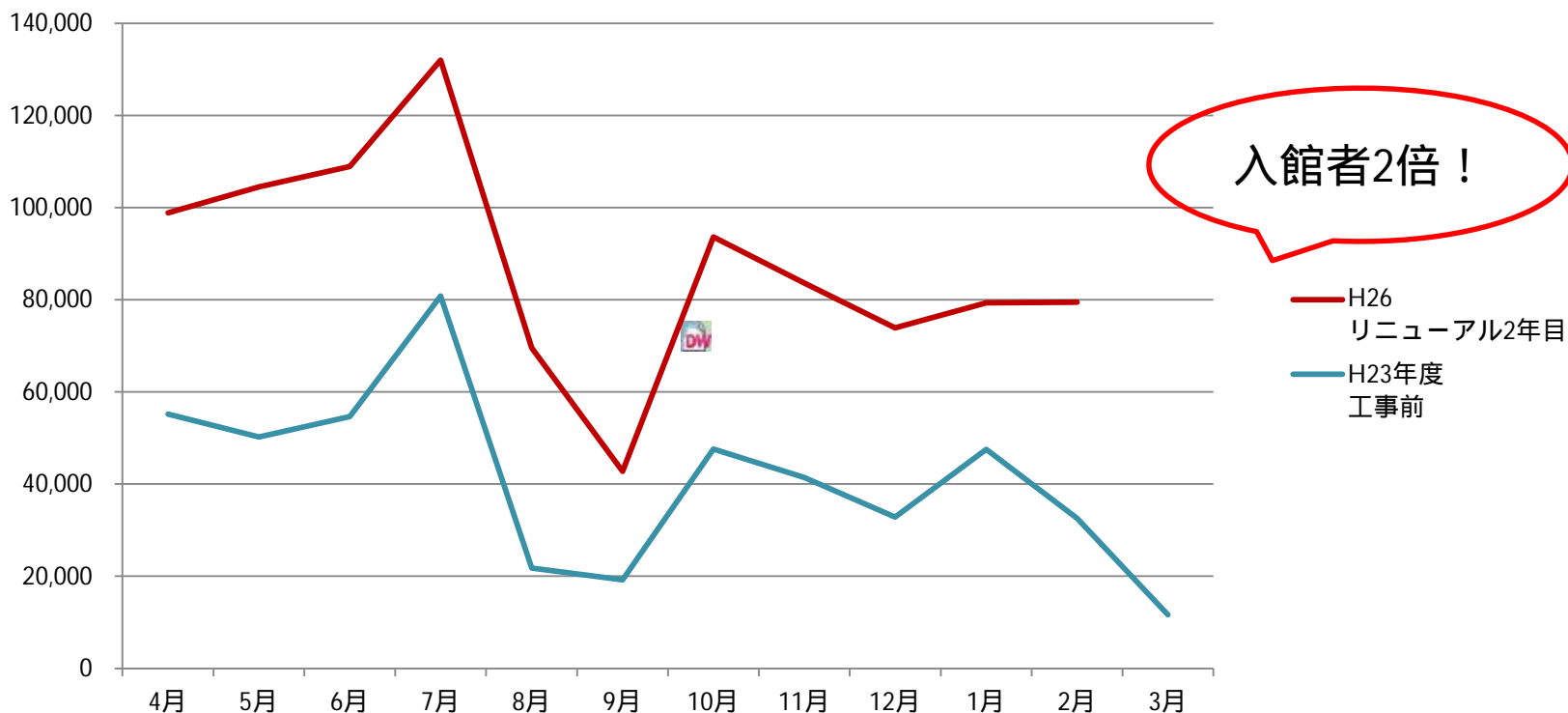


# 図書館機能を活用した 教育・学習支援



平成26年度「学習教育研究フォーラム」(平成27年3月10日)  
パネルディスカッション『学生の主体的な学修を支援する』  
新潟大学附属図書館(学術情報部学術情報サービス課) 長谷川 順子

# 1.. 図書館に関するテーマで全学FDを開催

- 平成24年度  
能動的な学習を支援するラーニング・コモンズ～新図書館を拠点として～
- 平成25年度  
アクティブ・ラーニングを支援する  
新図書館の可能性
- 平成26年度  
ラーニングアドバイザーを  
活用した学習支援の可能性



H26会場風景 ライブラリーホール

# 平成24年度 能動的な学習を支援するラーニング・ コモンズ ～新図書館を拠点として～

## 増改修後の図書館 機能や施設の使い方 について提案

学生の皆さん・教職員の皆さん、「新図書館」をご存知ですか？

新潟大学第30回全学FD  
能動的な学習を支援するラーニング・コモンズ  
～新図書館を拠点として～



# 10/29(月)

会場：総合教育研究棟 大会議室

時間：12:55～14:30（3限）

本学中央図書館は、昨年末から増改築され来年4月にはラーニングコモンズをはじめとする学生の自律的な学習を支援する施設を備えた「新しい図書館」に生まれ変わります。「新しい図書館」の姿を知り、その有効利用について話し合うシンポジウムを企画しました。**学生・教職員のどなたでも参加できます。**多くの皆さんのご参加をお待ちします。

### 能動的な学習を支援するラーニング・コモンズ～新図書館を拠点として～ プログラム

開会挨拶： 高等教育機関における教育の流れと「新図書館」

教育・学生支援機構 副機構長 渡口 哲

話題提供1：新しい中央図書館に期待できる最新の機能—ラーニング・コモンズ、情報リテラシー教育—

新潟大学附属図書館長 山口 芳雄

話題提供2：出会いの空間、自律学習の空間、創生の空間—新しい中央図書館の有効活用を考える—

学術情報部学術情報サービス課長 長谷川 順子

話題提供3：新しい中央図書館を有効に活用する方法を語り合う

事例提供・情報リテラシー教育の実践—教員との連携—

学術情報部情報サービス課情報調査係長 高井 真利子

・最先端の研究成果を発信—インフォメーション・ラウンジの活用—

学術情報部情報サービス課情報サービス係長 高橋 千夏

・アクティブラーニングへの活用

教育・学生支援機構 准教授 加藤 かおり

・ラーニング・コモンズの可能性

学生利用グループ Joy Free

全体討議

# 新しい図書館の機能

## ラーニング・コモンズ機能

- 学生の共同的・自立的な学習のための快適かつ機能的な環境を提供し，ネットワークを活用した情報の収集・加工・発信のための施設や人的支援を提供する

## アーカイブ機能

- 新潟大学が収集した学術資料を整理・保管して共同利用に供したり，学内で生産される学術情報の電子化して蓄積し，発信する

## インフォメーションラウンジ機能

- 学外の人が立ち寄ることのできるラウンジ的機能を備え，受験生，地域住民・卒業生，学生・教職員が気軽に交流できる場所を提供する

# 図書館施設の利用について

- 情報リテラシー教育に関する人的支援
  - 情報検索ガイダンスを実施
- 学生の共同的・自立学習を支援
  - 学生による知的交流活動
  - 学生自身の学習経験をいかしたラーニングアドバイザー
  - 授業外の自主学習
  - 課題解決のためのグループ学習を支援
- 語学学習と国際交流支援：FL - SALCの開設
- FDに関わる活動（研修会）を支援
- 貴重資料を利用した授業の場を提供
- インフォメーションラウンジの活用
  - ライブラリーホールで学会やシンポジウムを開催
  - ラウンジを利用した研究成果のポスター展
- カフェなど長時間滞在型のアメニティ環境

# 平成25年度 アクティブ・ラーニングを支援する 新図書館の可能性

## ラーニング・コモンズ の活用について 事例報告

### 第32回全学FD・附属図書館連携FD アクティブ・ラーニングを支援する 新図書館の可能性

主催：新潟大学教育・学生支援機構／新潟大学附属図書館



平成26年  
**1月31日(金)**

14:40～16:10 (4限)  
中央図書館 1階  
インフォメーションラウンジ

平成25年4月オープンした新図書館は、学内外で注目される教育・学習改革支援を備え、この機能を有効活用した事例を多く蓄積して、一定の評価を得ています。  
文部科学省HP URL: [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm)

#### 【プログラム】

1. ミニレクチャー：アクティブ・ラーニングの動向  
教育・学生支援機構大学教育機能開発センター 加藤かおり

#### 2. 活用事例の報告

##### 事例提供1

「ラーニング・コモンズを利用した初年次教育での図書館ガイダンス」

経済学部経営学科 中東 雅樹

「ラーニング・コモンズにおける情報リテラシー教育と授業連携」

学術情報部学術情報サービス課情報調査係 高井 真利子

##### 事例提供2

「外国語学習支援スペースFL-SALCの整備と活用」

学術情報部学術情報サービス課情報サービス係 渡邊 健一郎

「FL-SALCにおける自律学習の促進」

教育・学生支援機構教育支援センター外国語教育部門 ハドリ一浩美

##### 事例提供3

「図書館学生サポーターの活動：図書館を活気あふれる学習の場とするために」

図書館学生サポーター 教育学部3年 福田一貴

#### 3. 全体討議 アクティブ・ラーニング支援機能の活用法を語り合う

お問い合わせ先：学務部教務課 025-262-6308 学術情報部学術情報サービス課 025-262-6221

学生・教職員の  
どなたでも  
参加できます



# 例 1 情報リテラシー教育と授業連携

## 授業連携の目的

- 学習空間としてのラーニング・コモンズの存在と機能を利用者に印象づける。

## ラーニング・コモンズの利活用

- 教員の潜在的な要求（グループ学習・課題解決型授業・図書館を活用した授業・オープンな授業）に新しい学習空間を提供する。

授業利用(H25) 73回 2,349人

- |   |               |     |        |
|---|---------------|-----|--------|
| — | ワーキングエリア      | 4回  | 423人   |
| — | I C T 講義室     | 43回 | 1,232人 |
| — | プレゼンエリア       | 24回 | 631人   |
| — | インフォメーションラウンジ | 2回  | 59人    |



# 図書館ガイダンスの成果

## 成果：レポートでの利用文献の変化

	書籍	論文	書籍 or 論文	提出数
2012 年度	51	20	62	110
	46.4%	18.2%	56.4%	
2013 年度	95	20	97	102
	93.1%	19.6%	95.1%	

## 成果：図書館の利用頻度の増加

多くの学生が図書館を利用（テーマ発見の自習）



# 例2 FL-SALC開設

(Foreign Language Self-Access Learning Center)

- 英語・初修外国語学習関連図書・教材
- 英語学習アドバイザーによる個別カウンセリング、ミニ・ワークショップ
- 教員による自由参加型のテーマ別グループ学習
- 留学生チューターとの外国語での自由会話チャット
- 利用者のガイド役FL-SALCアシスタント



# 英語学習アドバイザーによる個別 カウンセリング<利用者の声>

- どうやって勉強しようか悩んでいたのもので、大変参考になりました。学習に行き詰ったら**また利用したい**です。
- 理系で英語に興味を持っている人は少ないので、こういった**機会は貴重で、モチベーションが上がり**ました。
- 英語の苦手な分野や試験への対策を丁寧に教えていただけました。すごく**相談しやすい雰囲気**でした。
- **定期的に**学習状況をチェックしてくださるとのこと、とてもありがたいです。



# ラーニング・コモンズを活用した 外国語学習支援スペース

# (FL-SALC)の整備

## 教育組織等と連携した学修・教育支援の取り組み

- 文部科学省HPで  
「平成25年度  
大学図書館の先進的な  
取り組みの実践例」  
として紹介された



- [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341375.htm)

# 平成26年度 ラーニングアドバイザーを活用した 学習支援の可能性

直接的な授業支援  
やライティング支  
援に関わる報告と  
意見交換

## 趣旨

国内外の大学教育において、学生の主体的な学修を促進することが求められる中で、大学図書館の学習支援に貢献できる機能が注目を集めています。国内では、多くの大学図書館がラーニング・commonsを整備し、学習支援サービスを実施し始めています。ラーニング・commonsを整備した本学図書館においても、情報機器のサポートだけでなく文献の調べ方やレポートの書き方などを含んだ総合的な学習サポートを行う取り組みが、教員と図書館員連携で試みられています。この可能性と課題を検討し、学内で共有していくことを目的とします。

## 日時

平成27年 2月18日(水)  
10:00～12:00

## 場所

新潟大学附属図書館ライブラリーホール

## 対象

教職員と学生のみなさん、どなたでも参加することができます

## 主催

新潟大学教育・学生支援機構  
新潟大学附属図書館

## プログラム

開会挨拶:新潟大学教育・学生支援機構 大浦容子 機構長

基調講演:金沢大学附属図書館における学習支援の取り組み  
金沢大学 大学教育開発・支援センター 特任助教 久保田進一 氏

事例報告1:新入生・上級生・教員の三方一両得を目指して  
人文社会・教育学系(経済) 准教授 澤村明 氏

事例報告2:図書館の授業支援の課題  
学術情報部学術情報サービス課情報サービス係長 高井真利子 氏

事例報告3:ラーニングアドバイザーによる学習サポート  
大学院自然科学研究科数理物質科学専攻 博士前期課程1年 玉木駿佑 氏  
全体討論

閉会挨拶:新潟大学附属図書館 鈴木光太郎 図書館長

第三十四回全学FD  
学生の主体的な学修を支援する(2)  
ラーニングアドバイザーを活用した  
学習支援の可能性



# 基調講演：金沢大学附属図書館における 学習支援の取り組み

金沢大学 大学教育開発・支援センター 久保田進一先生

- ビブリオバトルの開催（前期3回・後期3回）  
学生に本に触れる機会・プレゼ能力・議論する力
- 学生支援相談所の開設（火曜日16：00-18：00）  
講義ノートを取り方・講義の聞き方  
論文の探し方・レポートの書き方
- LA(ラーニングアドバイザー)の導入  
教員がLAを授業の予習復習の支援やレポート  
添削支援として活用  
ミニレクチャー・ライティング・レポート添削  
16科目のべ3,176人を支援（H26.4～12実績）

# ラーニングアドバイザーの活用



平成26年度相談内容

- ・ 授業のある期間 13:00～16:00
- ・ 教員推薦の大学院生を選考
- ・ 学習経験や専門分野，得意分野をいかして，下級生の学習サポート
- ・ 履修登録相談，情報検索，PC操作，学習相談
- ・ 経費は学生スタッフ制度を利用
- ・ 授業に密着したライティング支援を検討





# 図書館職員による授業支援

図書館を活用した授業を、教員の要望や授業の目的にあわせて、職員が支援する

学生の学習成果を発表したいのですが...

プレゼンエリアを使って発表してみたいかがですか？



平成26年4月～  
平成27年2月の実績

◆授業利用106回  
およそ2,880人

# 図書館を活用した授業の実践 例



人文学部 「歴史文化学B」



教養科目 「わが学問・教育」



キャリアセンター 「社会とキャリア選択A」



教養科目 「基礎英語」

# 図書館の目標

学生の主体的学修を促進するため  
教育組織と連携して授業に密着した  
関連事業を実施するとともにラーニング  
コモンズを質的に整備拡充する。

学生協働

「レポートの書き方」を作成

授業支援

ラーニングアドバイザーを活用

学習支援

シラバス掲載図書の電子書籍導入



# 「附属図書館，教育・学生支援 機構連絡協議会」の設置(H27.2)

図書館機能の利活用を通して、学生の主体的学修を支援する

- (1) 主体的学習に資する具体的な方策の企画，  
実施及び評価に関すること
- (2) 図書館が有する教育学習機能や施設・設備を  
利用した授業等の実施に関すること
- (3) FL-SALCの機能強化に関すること
- (4) 図書館機能を活用した修学支援を必要とする  
学生等の学内ワークスタディに関すること
- (5) 主体的学修をテーマとしてFD・SDに関すること
- (6) 主体的学修に対する他大学の  
取組み状況等情報収集及び  
共有に関すること

おわり

